

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

雪国エコローカルハウス

グループの名称

妻有の家ネットワーク

直近採択グループ番号

06-0541-0313

(グループ代表者)

代表者名

桑原 義宗

代表者印

代表者所属先

株式会社桑原工務店

代表者所在地

新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊1582

代表者電話番号

025-765-3075

(グループ事務局)

事務局事業者名

魚沼木材協同組合

事務局担当者名

渡辺 由美子

印

事務局郵便番号

948-0055

事務局所在地

新潟県十日町市高山657番地9

事務局電話番号

025-757-8657

事務局FAX

025-752-5783

事務局担当者E-mail

mokkyo.watanabe@aw.wakwak.com

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		12	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	採択戸数を超える申請見込みがあった場合は未経験工務店を優先するものとしそれ以外は抽選とする。							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型								
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 雪国エコローカルハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県及び、長野県北信地方
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 妻有の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0541-0313	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	特別豪雪地帯を中心とした対象地域において、地域区分に応じ断熱性能を重視し等級4以上の対策を講じることとする。また、重視する他の性能として積雪時期の暮らしの安全を確保するために各市町村の掲げる克雪住宅とする。克雪住宅とすることができない場合は各特定行政庁の掲げる積雪荷重に十分に耐える構造とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	各市町村が認定する克雪住宅仕様を十分考慮し軸組工法(金物工法を含む)で建築することとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外壁面の主たる素材は冬季の雪害、凍結による劣化に耐える金属サイディング等を使用する。	◎
④①～③の背景	新潟県の中でも特に豪雪地域である十日町市・津南町を拠点とする事業者が大半を占める。ほぼ毎年起こる豪雪災害(屋根雪処理による落下事故や積雪荷重による家屋の倒壊等)を防ぐため、頻発する地震への対応も含めた住宅が求められる地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 主要構造部の柱角、土台の寸法は120角以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材は断熱区分Cランク以上若しくは同等の断熱性能を有する仕様とする。1階床下、高床式の場合は2階床下も含む。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様カタログの作成を推進する。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 越後杉ブランド認証材の製材はグループ構成員である地元の製材事業者が行い、互いに木材ストックの融通など補完し合える体制を整え安定供給を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 各施工構成員の標準仕様商品の情報を収集し把握することで円滑な供給を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地元製材事業者、プレカスト事業者、事務局で品質管理委員会を設置、施工事業者の意見を取入れながら品質の向上を図り生産の更なる合理化を図る。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工構成員と連絡を取り合い流通構成員と連携し早めの対応を図ることで効率的な建築資材の供給を図る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: フラット35の設計施工基準に沿った施工を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 第三者機関(瑕疵保険会社等)による現場検査3回を必須とし、現場検査5回を推奨する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積書は項目別に作成し建築主に分かりやすいよう設計図書と共に説明する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: お施主様に現場検査結果を開示する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 若い職さんの人材が不足しているため、他の業種同様に週休2日制の導入を検討する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 1級技能士や技能検定を受けた職人等、個々のスキルアップのための費用や報酬を含め検討する。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 人材不足の改善に向け社会保険への加入を検討する。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 健康診断等定期的に健康状態を確認する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 雪国エコローカルハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県及び、長野県北信地方		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 妻有の家ネットワーク	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0541-0313			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報機関を利用する。保存書類には維持管理計画書を含むこととする。	◎	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書等の保存だけでなく顧客管理システムとして活用する。	◎	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員よりIDの提出で確認。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅で使用する維持管理計画は高度省エネ型の住宅にも適用する。	◎	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修、点検時は点検状況・見積書・写真等の資料を履歴情報に登録する。	◎	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書の提出で確認。	◎	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インスペクターを招いて管理勉強会を開催する。	◎	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 市主催のイベント等に参加し「ミニ建前体験」を開催する。	◎	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員のイベントにて実施。資金計画については無料で対応できる体制をとっている。	◎	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験施工構成員の意見を参考に施工構成員と事務局による維持管理検討委員会を1回開催する。	◎		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後に施工事業者が廃業した場合代行履行业者の斡旋を行う。	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		インスペクターの資格取得を推進する。	◎
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 認定住宅(長期優良住宅、性能向上計画認定住宅)についての講習会、交付申請・実績報告書類の作成について勉強会を開催する。	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社の防水検査を実施する。	◎		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社の防水検査報告書提出により確認する。	◎		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材活用比率を高めることを目標に、地元製材事業者と流通事業者が中心となり施工事業者の意見を取りまとめ、品質向上につなげる。	◎		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験施工事業者が1社でも多く認定住宅の流れや仕組みを体験できるよう推進する。	◎		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 人手が足りない時施工構成員同士の応援体制を構築する。	◎		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 32人 今年度の参加目標人数 3人	◎	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10人 今年度の参加目標人数 3人		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ講習会の日程等をグループ構成員へ案内する。施工構成員の事業者内での受講済み人数を増やすよう働きかける。		◎		
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		太陽光発電、HEMS、蓄電池、などの最新の商品情報など事務局より随時発信する。	◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 雪国エコローカルハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県及び、長野県北信地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 妻有の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0541-0313	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	柱、梁、桁、土台は越後杉ブランド認証制度の杉、または合法木材証明制度の産地(国内、国外)の何れかを使用する。 主要構造材(柱、梁、桁、土台)の合計に対して地域材の総量が占める割合は6割以上とする。 小屋束、母屋などの小屋材の過半は越後杉ブランド認証制度の杉を使用する。 土台： 桧(合法木材証明制度・国内) 柱： 杉(越後杉ブランド認証制度・新潟県) 杉(合法木材証明制度・国内) 梁： 杉(越後杉ブランド認証制度・新潟県) 杉・杉[ハイブリット・ビーム](合法木材証明制度・国内) 桁： 米松・米松[ラミナビーム]・米松[ハイブリット・ビーム](合法木材証明制度・国外) 桁： 杉(越後杉ブランド認証制度・新潟県) 杉・杉[ハイブリット・ビーム](合法木材証明制度・国内) 桁： 米松・米松[ラミナビーム]・米松[ハイブリット・ビーム](合法木材証明制度・国外)	◎
② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	対象となる住宅の越後杉ブランド認証材の製材を行うのは地元の製材事業者4社である。 原木供給も行うため地場(十日町市・津南町)の原木から越後杉ブランド認証材を生産することもある。 上記4社と流通、プレカット事業者が連携し供給体制を整備することにより地場の杉の使用比率を高めていくことを推進する。 ※このフロー図は代表的な一例を示す。 原木、製材構成員で国外に所在する事業者は様式に記載されていない。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><越後杉ブランド認証制度></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><合法木材証明制度></p> </div> </div>	
b		
①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容： これまで使用された地域材の材積や部位ごとの使用比率を製材事業者と共有。	◎
①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容： 越後杉ブランド認証材は地元製材事業者で価格協定を締結し安定価格で供給。合法木材材の詳細情報は個別に情報共有を図る。	◎
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 事務局は随時施工構成員と連絡を密にこより実際の供給戸数と規模を把握し、製材事業者へ情報提供を行う。	◎
c		
①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
d		
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 特別豪雪地帯を中心とした対象地域においては雪に関連する事故のリスクが高いためやむを得ず各市町村の定める克雪住宅仕様にてできない場合は屋根に安全装置(アンクル等)を施すこととする。	◎
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	構成員が拠点とする地域と住宅対象地域の大半は東日本大震災の被災地にあたる。そのため地場で生産される素材の使用割合を高め、地域の事業者により地域型住宅を供給することが復興に資する取り組みであると認識している。 主要構造材においても、地場の杉を地域型住宅へ導入し易い供給体制づくりと木材の品質向上に努める。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	(地域型住宅の名称) 雪国エコローカルハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県及び、長野県北信地方
2. グループの名称・結成年月（必須）	(グループの名称) 妻有の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0541-0313	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

性能向上計画認定住宅の特徴

高効率設備機器
設置

断熱材は断熱区分Cランク以上
若しくは同等の断熱性能を有す
る仕様とする



柱角は120角以上とする

高効率給湯器
設置

【性能向上計画認定宅】

断熱等性能等級4かつ
一次消費エネルギー消費量等級5とする

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。